

裾野麗峰山の会・山行報告書		文・合谷	写真・後藤
山行番	NO. 2014-2		
日時	2023年03月30日(木) 無風快晴高温		
山域	福井・荒島岳(1523m・深田百名山)		
コース	勝原(かどはら) 駐車場 5:20-深谷ノ頭 7:05-シャクナゲ平 7:50-前荒島岳 8:40-荒島岳(昼食) 9:05~35-前荒島岳 9:50-シャクナゲ平 10:35-深谷ノ頭 11:05-勝原駐車場 12:45-美濃市・古民宿「陽がほら」(泊) ~31日帰静(合計=1133km)		
標高差	上り・下り 勝原駐車場 350m ~ 荒島岳 1523m=1173m		
難易度	非常に困難	困難	やや困難 <b>レ普通</b> やや易しい 易しい
<b>「もちがかべ」は厳しかった</b>			
参加者	後藤、加藤、合谷=3名		

3月29日に富山・金剛堂山に登頂して、下山後は翌日30日に野伏ヶ岳(三百名山)に登頂する予定で福井の九頭竜湖駅まで移動し、その近くにあったキノコ生産販売所の駐車場でテント泊した。

30日は午前3時に起床し、朝食と身支度を済ませてから、野伏ヶ岳の登山口に向かったが、登山口に向かう道路の途中で通行止めの案内板があり、仕方なく野伏ヶ岳の登頂は断念した。

近辺で良い山ということで、荒島岳(福井県唯一の深田百名山)に登頂することになった。ただ、私としては野伏ヶ岳も荒島岳も登ったことはないので、どうせ登るなら百名山の荒島岳の方が断然に良いと思えた。



旧スキー場リフト跡



スキー場上登山口

スマホで荒島岳の登山口を確認したら中出・勝原・佐開・越前下山(しもやま)の4つあり、コース距離の一般的な勝原から登ることになった。

5時過ぎに勝原の登山口の駐車場に到着、まだ他に車はなく我々が一番乗りであった。かなり広い駐車場でトイレもあり、さすがに百名山の駐車場か昨日の金剛堂山よりは随分

立派である。

登山準備をして5時20分に駐車場を出発、この時には夜も明けヘッドランプは必要なかった。

出発してすぐに舗装された急坂を登り始めた。ここは昔スキー場があり、そのゲレンデ上の道を登っていることが判った。

ゲレンデの急坂を登りきるとリフトの痕跡があり、その後しばらく登って、出発から30分程で荒島岳登山口の道標にたどり着いた。

登山口からは整備された尾根を登る登山道で、雪もなく素晴らしいブナ林の中の急坂をひたすら登った。しばらく登ると雪は残っていないが、雪解け水のためか登山道がぬかるみ始めた。下部には、イワウチワ・ミツバオーレンが咲いていた。



イワウチワ

白山ベンチ（標高935m）を越えた辺りから残雪が見られ始めたが、まだアイゼンは付けずに登っていった。

深谷ノ頭を越えて、残雪の量もだんだんと多くなり、シャクナゲ平（1200m）の手前の平坦な所（1075m）でアイゼンを付けた。

私はこれまで6本爪の軽アイゼンしか使ったことがなかったが、今回初めて12本爪のアイゼン（実はこのアイゼンは1年以上前に購入したが、使う機会がなかった）を装着した。（確かに12本爪は雪面のグリップはいいが、結構重く足に負担がかかり、これが原因

かは判らないが帰りの下りで足が2回も攣りそうになるのであった)

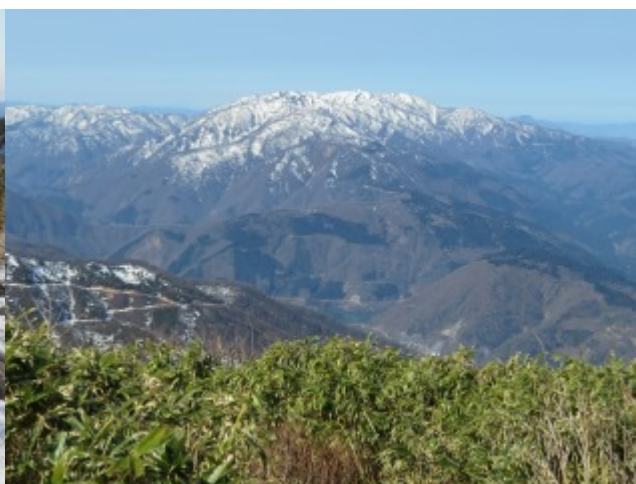
シャクナゲ平を越えて少し下ってから、「もちがかべ」という急登に差し掛かった。雪山初心者の私にとっては大変な登り（実は帰りの下りはずっと大変だった）であったが、何



美しいブナ林



山頂



能郷白山??

とか無事に登って、細い尾根にたどりついた。左右前後とも見晴らしがよく、天気もよくて素晴らしい展望である。

素晴らしい尾根を40分程登って、9時過ぎに荒島岳（1523m）に到着した。



山頂直下

ここで30分程小休息して、昼食（4時前に朝食を取っていた）を取り、荒島岳からの眺望を堪能した。

（北東側に2020年に登った大日ヶ岳、南側に21年に登った能郷白山が見えているはずであるがよく判らなかった）

帰りの「もちがかべ」は大変な難所で、雪も大分柔らかくなってアイゼンが効かないところもあり、雪山初心者には緊張の連続であった。



親子



雪穴

「もちがかべ」を下り終えた所で、2人の子どもを連れた女性（お母さん）登山者とすれ違った。こんな厳しい雪斜面を子どもが登っても大丈夫なのかと思ったが、スパルタ教育しているようでもあった。

シャクナゲ平を少し下った所で、アイゼンを外したが、そこからの下りは雪解け水が多くて靴とスパッツが泥だらけになってしまった。

さらに下っていくと、イワウチワ・ミツバオーレンが落ち葉の上に咲いており、春の到来を感じた。13時前に勝原駐車場に無事到着し、1時間程休息してから今日の宿泊先の美濃市の民宿「陽がほら」に向かった。



山頂



大ブナ

色々とトラブルもあったが、今回の山行では全く予定していなかった、百名山の荒島岳に登頂できた。雪山初心者の私にとっては少し厳しい山行ではあったが、ケガもなく素晴らしい眺望も堪能できて、結果オーライであった。

#### その他の記述（後藤）

1. 荒島岳に初めて上ったのは、1992年5月。スキー場は、2009年まで営業とあるから、その年は、営業していたことになる。ただ、5月だから終了していただろうが、スキー場の記憶は全くない。  
・・・福井の平野をうるおす九頭竜川が、大野の盆地に流れ出す直前の谷間。その北斜面に位置していたのが勝原スキー場。1963年に開設。2009シーズンを最後に営業休止し、2010年春には廃業となった。他のスキー場との競争やスキー人口の減少のほか、雪不足にも悩まされたようだ。ペアリフト2基を備えたファミリー向けの日帰りスキー場という位置づけだったのだろう。最盛期には金・土曜日にナイター営業もあった・・・ネット
2. 最低コルから山頂まで、厳しい「もちがかべ」日陰は、カチンカチンの雪壁だから、ストックでは難しい。下りは、ピッケルが安心・安定。
3. この日は、トップで登頂。山頂の展望は、とにかく超素晴らしい。特に白山がイイ。初登頂時の記録に「無線反射板2基、コンクリート製の小屋」があったとあるが、今回は無かった。何処に行った??
4. 北に、越前・経ヶ岳（三百名山）、越前甲（かぶと・大日岳）が大きかった。次回、上りたい山だね。



一番高い所が山頂



古民宿「陽がほら」



温かいストーブ